

2 都市計画変更の説明会について

生麦ジャンクション等の都市計画変更に向けた説明会を開催します。(同一内容で2回開催)

日時：9/1(金) 午後7時～午後9時
会場：生麦小学校体育館(鶴見区生麦4-15-1)



日時：9/3(日) 午後2時～午後4時
会場：子安小学校体育館(神奈川区新子安1-24-1)



※当会場につきましては駐車場がございませんので、車でのご来場はご遠慮下さい。

3 横浜環状北線地盤変動監視委員会について

- このたび「横浜環状北線地盤変動監視委員会」が設立されました。
- この委員会は、トンネル等の工事又は構造物の存在と地盤変動との因果関係の事実判定やその原因について、客観的かつ公平に審議する組織です。
- なお、この委員会は学識経験者や行政関係者等の第三者で構成されております。

平成18年6月13日、平成18年度 第1回委員会が開催されました。

<議事内容>

1. 日時：平成18年6月13日(火曜日) 12:30～17:30
2. 場所：首都高速道路(株) 神奈川建設局
3. 議事：(1) 委員会設立趣旨等
(2) 北線技術委員会における検討の概要
(3) 北線の地盤変動計測計画
(4) その他

<議事要旨>

横浜環状北線の現地視察を行い、周辺状況を確認しました。また、地盤変動を監視するための計測計画について審議しました。

※第2回委員会は8月9日(水)に開催されました。委員会での議事要旨等につきましては「横浜環状北線」等のホームページで提供しております。



ひと・まち・くらしをネットワーク
首都高速道路株式会社
http://www.shuto.co.jp



【お問い合わせ先】
首都高速道路株式会社 神奈川建設局
TEL 045-439-0731(調査・環境グループ)
〒221-0013
横浜市神奈川区新子安1-2-4
(オルトヨコハマビジネスセンター3F)

広報紙「きたせん」のバックナンバー(No.1～5)は、下記のホームページよりダウンロードできます。

広報紙「きたせん」は、横浜環状北線の広報として主に事業予定地およびその周辺にお住まいの方々に戸別配布あるいは郵送させていただいております。

「横浜環状北線」のホームページ：<http://www.yokokan-kita.com/>

100
この工事は国土交通省(国土院)の事業です。

「横浜環状北線」広報紙



平成18年8月発行
ひと・まち・くらしをネットワーク
首都高速道路株式会社



きたせん

Vol.6

今回のお知らせは、
北線の計画の変更内容とその説明会について
ご案内させていただきます。



お知らせ

1 都市計画の変更について

横浜環状北線の整備を確実にするため、関係機関と調整し、以下の内容で都市計画変更手続きを行います。

- 生麦ジャンクション(連結路)の形状を見直し、コンパクトにして整備する具体的な案がまとまりましたのでご説明します。
- トンネル区間の車線幅員の変更に伴う記載事項の変更内容をご説明します。

2 都市計画変更の説明会について

●生麦ジャンクション等の都市計画変更に向けた説明会を開催します。(同一内容で2回開催)

日程:9月1日(金) 会場 生麦小学校体育館
9月3日(日) 会場 子安小学校体育館

3 横浜環状北線地盤変動監視委員会について

●第1回委員会が6月13日(火)に開催されました。

1 都市計画の変更について

首都高速道路(株)では生麦ジャンクションの形状などをコンパクトにし、全体事業費の範囲内で当初計画どおりの機能を確認して全ての連結路を整備する検討を行ってきました。

このたび、具体的な案がまとまりましたのでご説明します。

また、この見直しに基づいて関係機関と調整し、都市計画の変更手続きを行います。



生麦ジャンクション等の変更について、詳しい内容は中面をご覧ください。➔

☆ 生麦ジャンクション及びトンネル幅員の変更(案)についてご説明します

① 生麦ジャンクションの変更(案)について

生麦ジャンクション変更計画図(案)

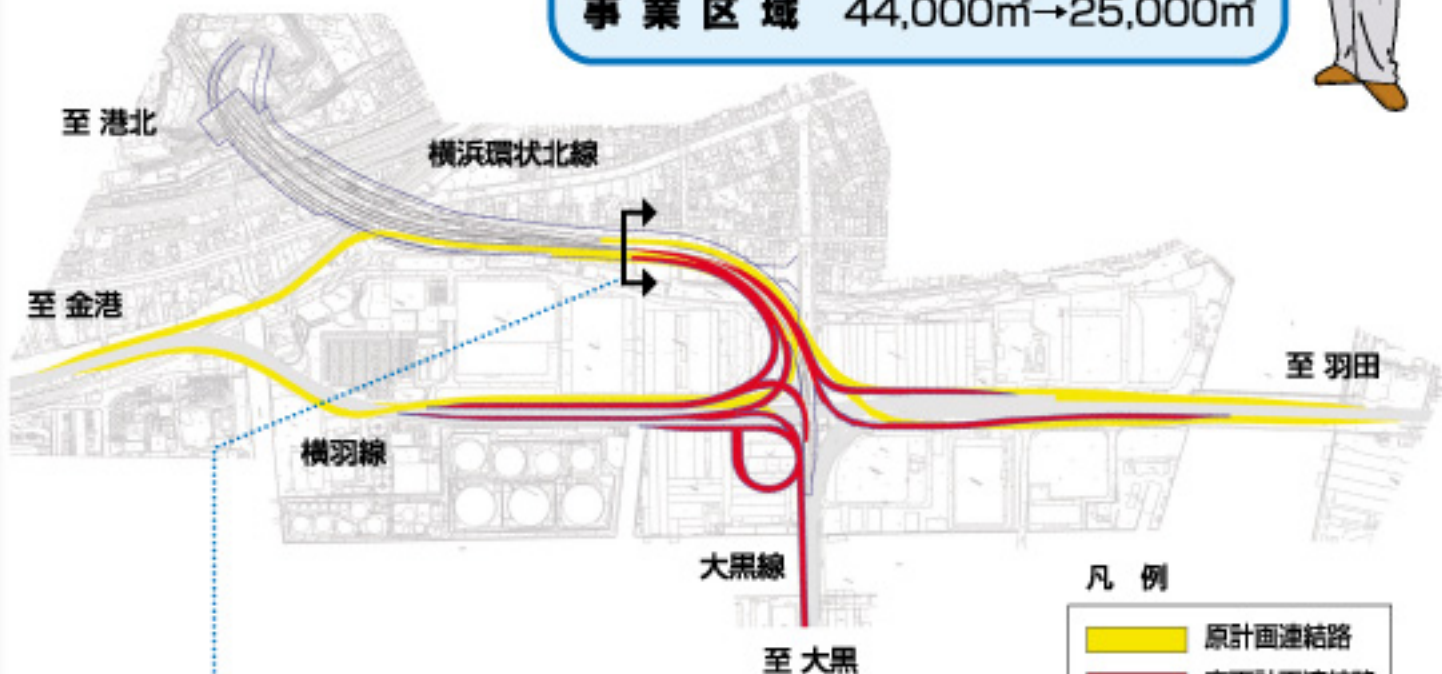


連結路を **黄色** から **赤色** に変更します。

変更によりこんなにコンパクトになります。

連結路総延長 4.9km→2.8km

事業区域 44,000㎡→25,000㎡

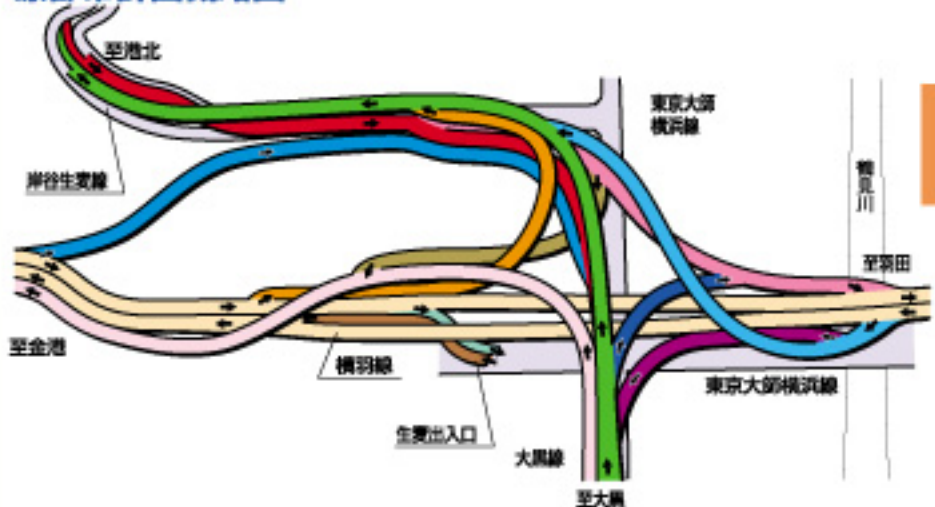


断面構成図



※アセス時の想定断面を基に変更箇所を示しています。

原都市計画概略図



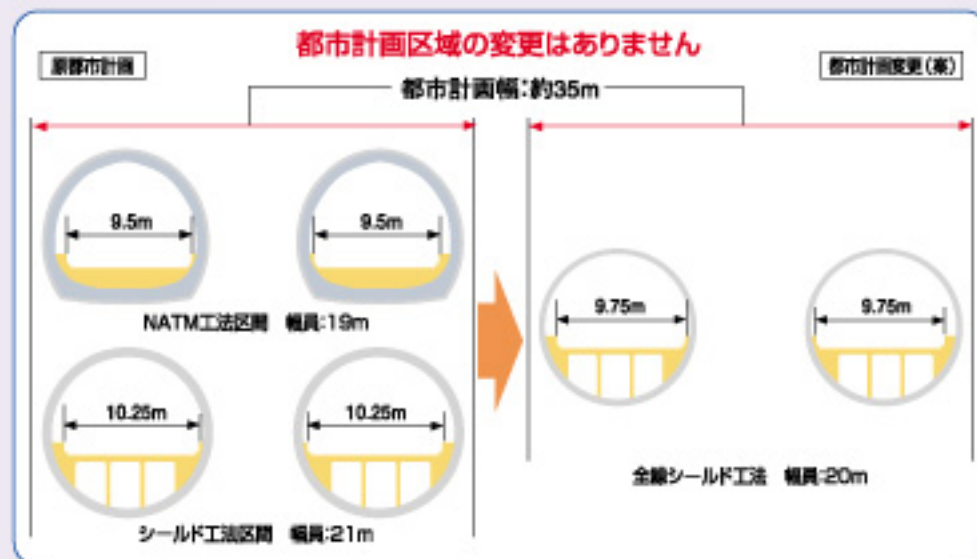
② トンネル幅員の変更(案)について

都市計画区域の変更は行いませんが、標準幅員等記載事項の変更手続きを行います。

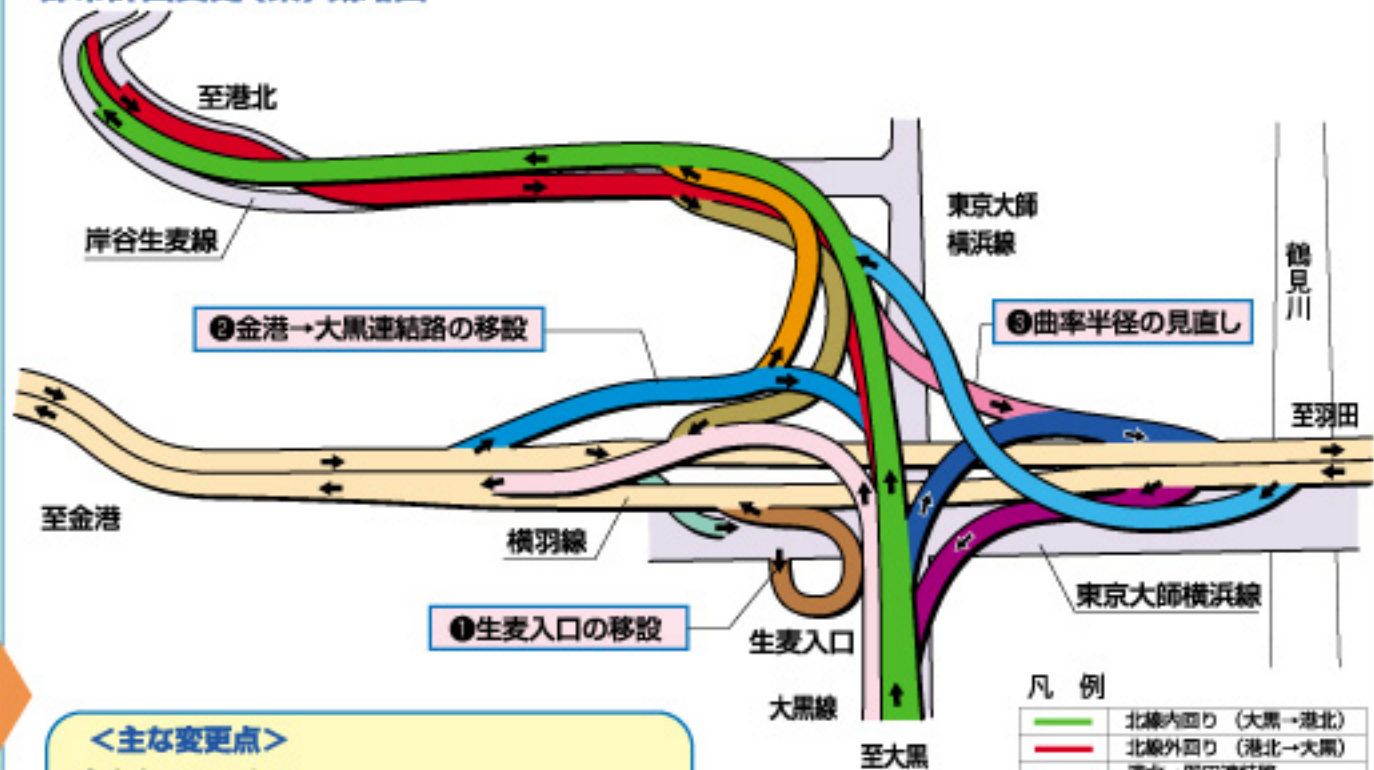
トンネル区間の単線幅員を3.5mから3.25mへ縮小します。また、工法については全線シールド工法を採用します。これに伴い、北線都市計画図書計画書の標準幅員等の記載の変更手続きを行います。

【記載事項の変更】

	原都市計画	都市計画変更(案)
標準幅員	19m	20m
地下式幅員	19~21m	20m



都市計画変更(案)概略図



<主な変更点>

- ① 生麦入口の移設
移設した空間に大黒→金港連結路を配置することによりコンパクトな形状としました。
- ② 金港→大黒連結路の移設
連結路の見直しにより移設が可能となりました。
- ③ 曲率半径(カーブ形状)の見直し
見直しにより羽田方向の連結路をコンパクトにしました。

凡例

- 北線内回り(大黒→港北)
- 北線外回り(港北→大黒)
- 港北→羽田連絡路
- 港北→金港連絡路
- 羽田→港北連絡路
- 金港→港北連絡路
- 大黒→金港連絡路
- 金港→大黒連絡路
- 生麦入口
- 生麦出口
- 横羽線
- 大黒線(上り)(大黒→羽田)
- 大黒線(下り)(羽田→大黒)